

夏号

おおた文化の森

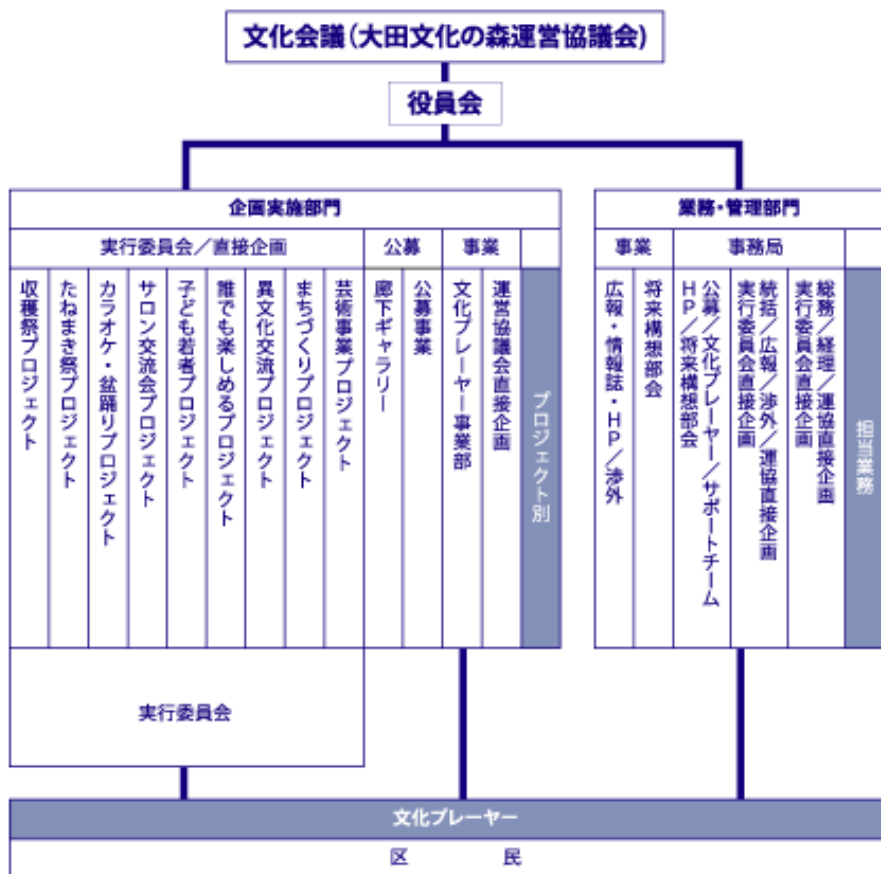
「森で、
楽しんで、
もう」

特集

新しい区民文化活動の協力者たち ～期待される第三期運営協議会～

2007年4月6日、区長より新しく委嘱された委員によって第三期運営協議会が活動を始めている。世代、性別、経歴などバランスのとれた委員構成で合計13名が新運営委員である。第二期から引き続き継続している委員は4名、また公募により8名、区長推薦により1名である。自己紹介を兼ねて、各委員が抱負を6ページに「ひとこと」ずつ述べている。第三期を迎えて7年目の運営協議会であるが、年を追って企画数は増え続けており、2006年度実施企画は72件に昇った。企画が増加する中で当然対応に多様な組織は必要であるが、第三期はむしろできるだけ簡素化し分りやすく改編されている(組織図参照)。大きく「企画実施部門」と「業務・管理部門」に分けてそれぞれに調整を担当する委員が置かれた。区民の生活や文化に関わる活動を、発見し育てる協力者として運営協議会と運営委員は期待されている。「新しい皮袋に新しい酒」が盛られよう。

2007年度 大田文化の森運営協議会組織図



読み応えのあるコラムが自慢

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。

大田の顔 キラリ

今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」を紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。

“3”と言う数字に、私は長い間こだわってきましたし、これからもこだわり続けようと思っています。

“1”とは自我、“2”とは対です。“対”は対立をも意味しますが、同時に“ツイ”とも読みます。他者と向き合う、人間関係のベースがここにありま

す。そして、“3”という数字は、集団・社会・コミュニティの始まりを意味します。即ち、デモクラシーへのスタートラインが、この数字“3”に引かれていると考えています。

「大田文化の森運営協議会」の委員交代も、この“3”という数字で律せられています。一期、二期それぞれが、ホップ・ステップと試行錯誤を重ね、ジャンプの3年目に、それなりの成果を出しました。そして、迎えた第三期です。私たちに、これまでよりも、一回り大きなスケールでの跳躍力が求められているのだらうと、強く感じています。

地域の人たちが求めるニーズを、より深く、より広く探り、叡智をあつめて、地域の福祉・文化の向上に資する活動を、狂いなく見定め、支援してゆくことが、問われています。

そして、この3つ目のジャンプは、「住民ボランティア主導」という、新しい仕組みの評価を決める跳躍でもあるのでしよう。

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



第三期運営委員が決まりました

新しく第三期の委員になられた13名の抱負をお伝えします。

文化の森イベントスケジュール



夏本番のこれからの季節、夏休みもありますのでたくさんイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介します。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.24Web版

2007年7月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

おおた文化の森

元気印 文化プレーヤー

手話ダンスってな〜に?

歌って踊って手話をする一人三役を同時に行うもの「誰でも楽しめるプロジェクトおじいちゃんおばあちゃんのミーティングルーム」第3・5水曜日「朝10時に文化の森へ来ると何かやっているよ」のキャッチフレーズ。そのうちの1つの会です。約30名位の方々が参加され、その日によって数人の新しい方もいらっやいます。



今年は5年目に入りますが、年に1〜2曲を1年間かけて練習します。「手話とは」手で話す。音楽は目で見るもの。聴覚障害者の気持ちになって出来るだけ正しい手話を表現し、リズムにのるようにして指先から足先まで全身を使ってウォーミングアップ。皆さん大変お若くなりましたよ。継続は力なり。今では年度末の納会ミニフェスタに衣装を着て踊りたいとの希望が出てくるようになりました。できれば望みを聞き入れたいと思っておりますが…。皆さんの1年間の成果を発表した後、ゆっくりと見る側になって若い方の演技や聴覚障害者の手話ダンスを見たり、すばらしい音楽を聴いて元気なパワーをもらっていくのです。文化の森で本物に出会える事は、とても有意義なことなのです。私も皆さんと共に楽しみ、心癒すボランティアに携わることができる喜びを感じとっております。多くの人々とすばらしい出会いの場に接することができ、幸せを沢山頂けて本当にありがたい気持ちです。

文化プレーヤー 本間紗弓

「文化プレーヤー通信」について(毎月1日発行)
登録されている文化プレーヤー(ボランティア)の方々に向けて、企画の活動紹介や情報を共有するために発行している通信です。文化プレーヤー自身で企画・編集しています。
入手方法は、文化プレーヤー登録していただくか、文化の森1階の情報ラックでも配布しています。

文化プレーヤー レポート

めざせ！子どもたちのセカンドハウス

特集

新しい区民文化活動の協力者たち
〜期待される第三期運営協議会〜

ご挨拶 ホップ・ステップ・ジャンプ
第三期運営協議会会長 塚越 恒爾

読み応えのあるコラムが自慢

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。

大田の顔 キラリ

今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」をご紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。



「日本の文化や伝統の素晴らしさを、是非子どもたちに伝えたいわ」「勿論そうね、でも提供するだけじゃなく、子どもたちを巻き込んで子どもたちと共に創り上げて行くことも必要よ」・・・実行委員会の席上でのひとコマです。

“子ども若者プロジェクト”のメンバーには、日本の伝統文化のスペシャリストが勢ぞろいしています。何かにつけて核家族化が取り沙汰される昨今、“伝統文化の達人”たちは子どもたちと手を繋ぎたがっているのです。いえ、伝統文化だけではありませ

ん。料理や科学実験や読み聞かせ等々・・・様々なジャンルでの色々な関わりを提案し実践して来ました。

絵本のトルルを見つめる真剣なまなざし。ドライアイスの威力に歓声を上げる小さなサイエンティスト。文化の森での子どもたちは輝いています。私たち実行委員はそんな彼らを、未来を生み出すエネルギーの源だと考えています。

そして、気付いたら子どもたちのセカンドハウスになっているような、そんな文化の森を目指して今日も活動しています。是非一度、実行委員会を覗いてみませんか？

※トルル：北欧の国の伝承に登場する妖精

文化プレーヤー 山本 直子

子どもたちに伝えていこう



文化の森運営協議会で「子ども若者プロジェクト」の文化プレーヤーとしてかかわりをもつようになってから3年目になります。そして提案させていただいたのが『子ども落語家養成講座』という企画でした。

『子ども落語家養成講座』の講師にはご縁があつて三遊亭竜楽師匠にお願いすることができました。真打の落語家さんにボランティアとしての参加をお願いできたのはとても幸運でした。この講座の成功はひとえにサポートしてくれた実行委員会、運営協

議会のメンバー、そして引き受けていただいた師匠によるところが大きいです。当初の考えでは、1)江戸時代など昔ながらの文化に親しんでほしい、2)大きな声を出すことによってストレスを分散させる、3)演じる楽しさから客観性を身に付けてほしい、4)人前で話す力を身につけてほしい。そして何より、子どもたちにとっても親しみやすいのでは、という気持ちがありました。

実際に講座、発表会を終えて、新たに付け加えさせていただくと、発表会をやり遂げた子どもたちの達成感がかげがえのないものになったという自負があります。

長い時間をかけて築かれてきた「日本人のこころ」への喪失感に全世代が戸惑いを感じているように思われます。

プロジェクトの今後ですが、「子どもたちに伝えていこう」という視点で、全世代が協力して、それぞれが勉強できるような企画を考えていきたいと思ひます。

文化プレーヤー 里見 知香

第5回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



第三期運営委員が決まりました
新しく第三期の委員になられた13名の抱負をお伝えします。

文化の森イベントスケジュール



夏本番のこれからの季節、夏休みもありますのでたくさんイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704
■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願ひます（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。
■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.24Web版
2007年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

おおた文化の森

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

宗 正雄

私が「大田文化の森」の存在を知ったのは最近です。

会社生活から足を洗い、今後の居場所探し(自分探し)を1~2年続けていた時に、大田区主催のシルバーカレッジ講座で、偶々運営協議会委員の一人と知り合ったのがきっかけでした。詳しい内容をお聞きし、私のこれまでの人生経験と学んできたスキルをこの「森」を通して少しでも社会に還元でき、尚且つ、私自身もこの「森」に、これからの人生の楽しみを探求できるのではないかと思ったのです。それからは、積極的にこの「森」の中へ飛び込み、さ迷い続け、あっという間に3年間が過ぎました。

その間、区民と視線を同じくし、区民の立場に立って、いろいろ考え、実施していくことが如何に大切であるか、また如何に難しいことであるかを痛感しました。

「木を見て森を見ず」という言葉がありますが、「森」は様々な「木」一本一本の集合体であり、一本一本がバランス良く、立派に育ってこそ「森」も美しく見えます。

一本だけが異質であってはならないのです。その「木」は、ある時は運営協議会委員であったり、ある時は区民の参加者であったり、ある時はボランティア(文化プレーヤー)であったり様々です。

運営協議会は「木」一本一本を気にかけてながら、「森」全体を見て運営していかなければいけないと思います。この「文化の森」を大きく、立派に育て上げていく責任は、私たち運営協議会委員並びに事務局スタッフ一同だと思っています。それだけに、この度、第三期の運営協議会委員の委嘱を受け、その責任の重さを痛感しています。

私自身は、新しい自分の発見の場、様々な人々との交流の場、心のふれあいの場として、当面の物理的、精神的な居場所として、「文化の森」と共に歩み、皆さんと喜びや楽しみや幸せを分かち合えたら最高です。

※このコーナーのタイトル文字は寄稿者の直筆によるものです。



サロン交流会で
リッチなひとときを!

特集

新しい区民文化活動の協力者たち
~期待される第三期運営協議会~

ご挨拶 ホップ・ステップ・ジャンプ
第三期運営協議会会長 塚越 恒爾

読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。



今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」を紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。

文化の森サロン交流会は文化プレーヤーや、一般の区民の皆様を対象に年4回ミニイベントを含めフリーターキングを交えて懇親会を行っております。サロン交流会は二つの目的を込めて企画開催しております。一つ目は「ふれあいの場」「懇親の場」としたい。二つ目は各々活動プロジェクト相互の情報交換と全体の活動を知る「共有の場」とし、全体としてどんな活動があるか理解を深め、支えあう大切な場となるようにしたい。



以上、私たちの願いは、文化の森を成長させていく新しい人々との出会いと、今活動している人たちの温かい触れ合いと交歓の場としてプレーヤーの登録を推進し、加入していく努力を重ねていきたいと考えます。今年も第1回目は5月15日(火)に実施しました。ミニイベントは、チェロとピアノのミニコンサートを、御前演奏をされた飯塚由紀さんのピアノで、皆さま陶酔することができました。大変素晴らしい音色と優雅なひとときで、まるで別世界にいるようでした。このような、よい企画を盛りだくさん用意し、次回は7月10日(火)19:00から、多目的室でフラダンスとマジックショーを予定しておりますので、ぜひ皆様ご参加のほど、お待ち申し上げます。

文化プレーヤー 石橋 君恵

第5回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



新委員紹介!
第三期運営委員が決まりました
新しく第三期の委員になられた13名の抱負をお伝えします。

文化の森イベントスケジュール



夏本番のこれからの季節、夏休みもありますのでたくさんイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

7月～9月 運営協議会【会議】スケジュール

※問い合わせは月～金(9:00～18:00)の間に願います。

■文化会議(毎月第1・3金曜日)19:00～21:00(第2集会室)

7月6日・20日、8月10日、9月7日・21日 * 文化会議は、運営協議会の最高議決機関で公開です。いつでも傍聴できます。

■役員会(文化会議のある週の火曜日)13:30～15:00(講師控室)7月3日・17日、8月7日、9月4・18日

■実行委員会

- 芸術事業プロジェクト(第2金曜日19:00～21:00)7月13日、8月は未定、9月14日
- 誰でも楽しめるプロジェクト(第1火曜日19:00～21:00)7月3日、8月7日、9月4日
- 子ども・若者たちのプロジェクト(第2金曜日13:30～15:30)7月13日、8月10日、9月14日
- まちづくりプロジェクト(第1木曜日10:00～12:00)7月5日、8月2日、9月6日
- 異文化交流プロジェクト(第3木曜日18:30～20:30)7月19日、8月23日、9月20日
- サロン交流会プロジェクト(火曜日19:00～21:00)7月3日、9月25日
- 収穫祭プロジェクト(第3水曜日19:00～21:00)7月18日、8月22日、9月19日

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話:03-3772-0770
FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.24Web版
2007年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

おおた文化の森

大田の顔 キラリ

ギヤマン、蒲田に来たりてモダンと化す ～江戸切り子 鍋谷考さん～

江戸切子の企画製作会社「グラスフォレスト」代表であり、アート・ディレクターの鍋谷(なべた)に孝氏を、蒲田にあるガラス工場の2階ショールームに訪ねた。江戸切子(きりこ)とは江戸末期に始まった国産カットグラスのことをいう。

今回の取材にあたり、江戸切子は江東区や墨田区あたりで作られている伝統工芸品なので、という思い込みから「江戸切子がどうして蒲田なの?」という疑問を解きたかった。

鍋谷氏にお話を伺った。



「江戸末期、外国のガラス製造技法の書物を思想家・佐久間象山等が翻訳し、日本におけるガラス製造が始まりました。江戸切子は1834年(天保5年)に江戸のギヤマン・ビードロ問屋加賀屋がガラスの表面に彫刻を施すことを工夫したのが始まりとされます。なお、ガラスを表現する昔の言葉にギヤマンとビードロがあります。一般的にはギヤマンは高級ガラス、ビードロは普及ガラスを意味していました。江戸切子はギヤマンと言えます。江戸切子職人は明治に入り、多くは現在の江東区亀戸周辺や墨田区に住み着いたのです。それが、どうして私の祖父の代からの家業の切子工場が蒲田にあるのか不思議に思い、調べたのです。そして、ここ蒲田に、大正の初め、アメリカ帰りの事業家である黒沢貞次郎氏が日本初の国産タイプライター製造工場を新蒲田1丁目(現・富士通)に「黒沢村」と称して、近代的なコミュニティ工場を建設しました。その後黒沢氏の勧めで、大倉孫兵衛氏が「良きが上にも良き物を」をモットーに、陶磁器の大倉陶園を西六郷1丁目に開業しました。昭和9年には、ドイツでモダンデザインを学んだガラス工芸家・各務(かがみ)鉦三氏が各務クリスタル製作所を西六郷1丁目に創立し、この界隈にガラスの下請け工場が誕生しました。私の祖父の工場もその一つだったのです。各務氏と友人の染色工芸家・芹澤 介氏も工房を蒲田に持ち、ここに、蒲田モダンが誕生したのです。」

伝統的な文様を有する江戸切子は美しい。しかし、各務鉦三がドイツで学んだモダンデザインによる江戸切子は、伝統技術とデザインとが融合した洗練性を放つ。鍋谷氏は、伝統工芸の江戸切子に「蒲田モダン」の要素を加えた作品を創造するアート・ディレクターであるとともに、「蒲田モダン」の発祥の地が近代工芸文化の発祥の地であったことを広める、切子のようにキラリと輝く伝道師でもある。

*11月に鍋谷孝氏の「切子ガラスと蒲田モダン」についての講演会を予定しております。どうぞ、楽しみに。



運営委員 奥田 和子

特集

新しい区民文化活動の協力者たち
～期待される第三期運営協議会～

ご挨拶 ホップ・ステップ・ジャンプ
第三期運営協議会会長 塚越 恒爾

読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。



今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」を紹介します。



立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。



2006年 収穫祭
収穫祭 文化の出会い 広がる輪
～楽しさいっぱい！夢いっぱい！～

大田文化の森合唱団は当初「大田讃歌を歌う会」として発足いたしました。翌年は「メサイを歌う会」に名称を改め、芸術事業プロジェクトの企画事業の中の一つとして、練習を重ね演奏会を開催して参りました。合唱団も少しずつ充実し、独自の規約も作り2005年に「大田文化の森合唱団」が誕生いたしました。その後は、直接企画事業の中で会場使用の助成を受けながら、全て企画、運営、実施までを担う事になりました。

2005年度に一度だけ「大田区民プラザ大ホール」で演奏会を『大田区民オペラ合唱団』の協力の下で開催しました。しかしその後は、文化の森ホールにて、年1回の会場の助成を受けて演奏会を開催する事になりました。また運営協議会の主催する事業にも、積極的に参加し、収穫祭、たねまき祭、異文化交流プロジェクトの事業でその成果をあげております。大田区民なら中学生～大人まで歌が好きな方であれば誰でも参加できるように、通年団員募集をかけています。

前期は月3回の練習日の中で合唱練習をしています。しかし、後期からは毎年演奏会の曲づくりとなりますので、1回増やして月4回の練習日にして合唱練習に励んでいます。演奏会に聴きにいられたお客様が、満足して下さる様な演奏を目指し、日々練習を重ねています。今年度からは若手の指導者を迎え、新しい曲にチャレンジしております。

ロッシーニ作曲の「小荘厳ミサ曲」と、日本の曲の組曲を歌います。またクリスマスには、会場の皆さんと一体になるようなクリスマスソング等も歌い、楽しんでいただける演奏会にしたいと思っています。是非12月22日(土)の演奏会には聴きにいらして下さい。

文化プレーヤー 北岡 三子

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



第三期運営委員が決まりました

新しく第三期の委員になられた13名の抱負をお伝えします。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 側でもあり

夏本番のこれからの季節、夏休みもありますのでたくさんイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.24Web版
2007年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

おおた文化の森



ここに花あり

おおた
花百景

巨大なガーデンや立派な花畑でなくてもよい。街を往くとき、ふっと思いが浮かんだり、はっと気がつくスポットが沢山あるはず。そこに花があれば楽しめばよい。なければ植える方法がないか考え実行できるかもしれない。こんなスポットが百景もできれば、街が華やぎ、人々が甦る。一昔前、群馬の市民楽団が草の根から成長して「ここに泉あり」と評されたことがあった。

このシリーズは、区民の皆様の推薦スポット。ご連絡を歓迎します。(編集部)

花清水公園は花や緑が一杯の憩いの小宇宙

花清水公園一体は古く江戸時代には木原山と呼ばれ山頂には相模街道があった荒藪宿(あらいじゆく)で、兎の御狩場の地でもありました。また「この山の中に池の中島と弁財天の祭司がありこれを小野小町の宮あり」と呼ばれた現在の厳島(いつくしま)神社、通称弁天池が山王三、四丁目を下って馬込に向かう途中にあります。厳島の由来はご祭神が市杵島姫(いちきしま)の女神(ひめみこ)でありますのでその後小町弁天と呼ばれたそうです。この池には大小の亀が天気の良い日には親亀の背中に小亀が乗った状態で重なり合い、甲羅干しをしている様子は愛嬌があり見ていて面白いです。以前は池に岩があり安心して甲羅干しができたのですが、長い間甲羅干しの場が無く見かねて地域の方の呼びかけで行政に木の筏を作ってもらった経緯があります。また産卵時には産卵のための砂地が無く、この点も解決したいところですが都会に住む生き物との共存には問題が多いですね。



特集

新しい区民文化活動の協力者たち
～期待される第三期運営協議会～

ご挨拶 **ホップ・ステップ・ジャンプ**
第三期運営協議会会長 塚越 恒爾

読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。



今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」を紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。



さてこの弁天池に隣接して山王四丁目の山王花清水公園があります。以前は個人の敷地の中に茶室、プール、薔薇園、蘭の温室、緋鯉の養魚場もあり、四季を通じて風雅を楽しんでおられたとのこと。現在は地元町会の有志が四季折々の安らぎの場となるよう花の手入れに努力されています。

ミツマタ、ザクロ、イヌマキ、ミツバツツジ、クラマゴケ、タマイブキ、ベルガモット、ローズマリー、アジュガ、ロウバイ、花ショウブ、セキショウ、アセビ、ブルーナルビラ、ヤブコウジ、ウグイスカズラ、アジサイ、ミヤギノハギなど、野草を含めて百種近く植えられています。

春は京都から移植された緋桜や染井吉野、枝垂桜、梅、桃、草花などで百花繚乱と咲き乱れます。園内の池では子どもたちがザリガニ取りに夢中になって挑戦しています。また湧水もあり弁天池の源泉となっていますが残念ながらこんこんと湧く状態ではありません。花清水公園は東洋と西洋の融合である文化庭園で区内ではめずらしく、休憩所はガゼボ(西洋式のあずまや)を置き高台にはベンチとテーブルがあり眺めながらお弁当を持って散策してみるのも良き一日かと思われます。[地図はこちら](#)

運営委員 大瀧真理子

第5回 フォレストメーツ チクリ一筆

多様性を包含する舞台／孵化器であれ



「文化の森」って良いネーミングですね。以前、「森」について調べたことがあります、「森」は「多様」な生物が「関係」を形成していて、それゆえ、「柔軟」で「安定」しているということを学びました。

人間社会もまさに同じだと思います。多様な人々が、それぞれの「個」を活かし、尊重され、互いに関係し、人と人が「つながる」ことによって、しなやかで、安心・安全、元気な地域社会が形成されていくのだと思います。

大田文化の森はまさに、そういった多様性を包含する舞台、育成する孵化器です。みんなちがってみんないい！大田区と運営スタッフの「柔軟さ」と、「懐の深さ」に期待します！

NPO法人馬込文士村継承会理事長 井上 幹彦

第5回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

夏本番のこれからの季節、夏休みもありますのでたくさんイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.24Web版
2007年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります



おおた文化の森

文化の森 イベント情報 何でもあり

暑い夏、イベントも熱くなります。夏休みにもたくさんの催しものが行われますので親子揃って是非ご参加ください。

最新イベント情報

■4階 廊下ギャラリー「水墨南画・色紙習作展」
文化の森公募企画から生まれ、絵筆をとって2年半のサークル『竹翠会』の 日頃の成果を活かした、水墨南画による色紙作品を展示発表します。

□開催日時:8月21日(火)～9月2日(日) 9:00～17:00
□会場:4階 廊下ギャラリー※どなたでもご自由にご覧いただけます(無料)
※チラシはこちらをご覧ください

■ビギナーの陶芸教室(3日間の講座)
初心者対象の粘土いじりと釉掛け窯出しまでの3日間の陶芸体験。最終日は自作のカップで乾杯!

□開催日時:①10月10日(水)9:30～16:00、10月26日9:30～12:00、10月30日(火)9:30～11:00/②10月14日(日)9:30～16:00、10月26日13:30～16:00、10月30日(火)9:30～11:00
□会場:3階工芸室 □参加費:2,000円 □定員:抽選で①②各10名
□申込:9月25日必着(3回とも参加できる方、①②Aいずれかを明記)
※チラシはこちらをご覧ください

■懐かしのフォークソング・フェスティバル
フォーク愛好家らによる60年代の懐かしい名曲ばかりを選びすぐった、アマチュアフォークソングコンサート

□開催日時:10月13日(土)13:00～15:00
□会場:大田文化の森 ホール □チケット:1,000円、大田文化の森にて9月1日10:00から発売(未就学児不可)
※チラシはこちらをご覧ください

『磯家の人々画廊』～85歳の風景画他～
この企画展は、闘病中であったお父様のことを励ましたいという思いで、長男とそのお嫁さんが企画され実現した家族による画廊展。『今まで父が描き溜めていた風景画などを展示したい』という看病中のご家族の思いが、詰まった今回のこのギャラリーでは、お父様の風景画と家族のみなさんが描いた絵や漫画を展示しています。

□開催日時:平成19年7月2日(月)～7月16日(月)※12日休館日 9:00～17:00(最終日は15:00まで) □会場:4階 廊下ギャラリー
※どなたでもご自由にご覧いただけます(無料)
※チラシはこちらをご覧ください

■文化の森サロン交流会
参加者同志による情報交換や運営協議会からのお知らせなど、毎回さまざまなミニイベントを交えて交流を図ります。初めての方も大歓迎です!

□開催日時:7月10日、10月16日(各火)19:00～21:00、1月19日(土)13:30～16:00 □会場:5階多目的室 □参加費:500円(軽食・飲物付き) □当日直接会場へ
※チラシはこちらをご覧ください

楽しいイベントが一杯! ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

■大田文化の森落語会季節寄席(夏)
500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」。出演は、春風亭柳朝(朝之助改め真打昇進)他。演目は未定
□開催日時:7月21日(土)15:00～18:00
□会場:大田文化の森ホール □チケット:前売500円 完売御礼、当日700円、大田文化の森

特集

新しい区民文化活動の協力者たち
～期待される第三期運営協議会～

ご挨拶 ホップ・ステップ・ジャンプ
第三期運営協議会会長 塚越 恒爾

読み応えのあるコラムが自慢

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志 「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。

大田の顔 キラリ

今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」を紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。

にて発売中(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■カラオケ・盆踊り大会

文化の森での夏の定番のお祭。広場での盆踊りや屋台、ホールでのカラオケ大会など、ご家族みんなで楽しめます。また、お子様向けのワークショップやガーデニング体験なども開催

□開催日時:8月3日(金)・4日(土)

?@盆踊り大会18:30~20:30、?Aカラオケ大会17:30~21:00 □会場:ホール・多目的室・広場・展示コーナー・集会室等

■読み語り「八月の蒼い空」

野坂昭如著『戦争童話集』、武田鉄矢著『月がのぼるまでに』を鈴鹿景子がじっくりと読み語る

□開催日時:8月18日(土)14:00~15:30/18:00~19:30 □会場:大田文化の森ホール

□チケット:前売2,000円(中学生以下1,000円)、当日券2,200円(中学生以下1,100円)、大田文化の森にて発売中

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■夏休みこども落語まつり

夏休みこども落語講座参加者の発表会

□開催日時:8月19日(日)13:30~15:30

□会場:5階多目的室 □チケット:300円、大田文化の森にて7月10日10:00から発売

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■夏の夕べのコンサート~文化の森から平和の調べを~

歌と朗読で平和のメッセージを届けます

□開催日時:9月1日(土)19:00~21:00

□会場:大田文化の森ホール □チケット:前売1,500円、当日券2,000円、大田文化の森にて7月2日10:00から発売(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■トライ! ジョイントコンサート

大田区内で活動中の小さな合唱団を公募で募り、採用された合唱団が主役になって、楽しいミニコンサートを開催

□開催日時:9月8日(土)14:00~16:00

□会場:大田文化の森ホール

□チケット:800円、大田文化の森にて7月9日10:00から発売(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■大田文化の森落語会季節寄席<秋>

500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」。出演は、春風亭柳朝(朝之助改め真打昇進)他。演目は未定

□開催日時:9月15日(土)15:00~18:00

□会場:5階多目的室 □チケット:前売500円、当日700円、大田文化の森にて8月15日10:00から発売(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■おじいちゃんおばあちゃんとのふれあいコンサート

区内在住の高齢者を招き、子どもたちとの対話や音楽のプレゼントなどで交流を図る

□開催日時:9月24日(月・祝)14:00~16:30

□会場:5階多目的室 □定員:抽選で50名(75歳以上) □参加費:500円 □申込:9月10日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■異文化交流コンサート「インド文化を楽しもう！」

インド古典音楽と古典舞踊の神髄に触れ、和楽器との共演も楽しめます

□開催日時:10月14日(日)14:00~16:00

□会場:大田文化の森ホール・展示コーナー(13日・14日) □チケット:1,000円(小中学生500円)、8月14日10:00から大田文化の森にて発売(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■演劇「山ろく~呑川へきたかっぱのこと」

多摩川の奥から呑川へやってきたかっぱと人間の交流に、失われた自然への思いをこめたファンタジー

□開催日時:10月20日(土)14:00~15:20/18:30~19:50 □会場:大田文化の森ホール

□チケット:前売2,000円、当日2,300円、大田文化の森にて8月20日10:00から発売(未就学児不可)

第5回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



第三期運営委員が決まりました

新しく第三期の委員になられた13名の抱えをお伝えします。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 側でもあり

夏本番のこれからの季節、夏休みもありますのでたくさんイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号

(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.24Web版

2007年7月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

 **体験してみよう!** 日頃なかなか体験できない貴重なイベント

■わくわく科学の森～ドライアイスパワー

小学生の親子で取り組む科学の実験講座。わかりやすい実験で子どもたちの科学への興味を引き出す

□開催日時:7月14日(土)9:30～11:30

□会場:3階美術室 □定員:抽選で親子15組 □参加費:100円 □申込:7月6日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■ワイヤーアート～イメージを形にしてみよう

様々な太さ・色のワイヤーを使用し、編む・ねじるなど創意工夫しながら、小物入れ・花瓶・コサージュなどを制作

□開催日時:7月21日(土)13:30～15:30

□会場:4階第2集会室 □定員:抽選で20名(小学生) □参加費:200円 □申込:7月14日

必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■夏休み集中企画～子ども落語講座

夏休みに落語家を講師に招き、古典落語を通し江戸庶民の日常、風習などに親しむ

□開催日時:7月23・30、8月1・8・13・16日13:00～17:00 □会場:3階和室 □参加費:3,000

円(?@小学2～4年生、?A小学5年生～中学生) □定員:抽選で?@?A各20名 □申込:7月9

日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■幼児安全法短期講習

こどもに起こりやすい事故の予防と応急手当を学ぶ一般向けの講習会。子育て中の方、乳幼児にかかわるボランティア活動をされている方などを対象

□開催日時:8月1日(水)13:30～16:30

□会場:4階第4集会室 □定員:抽選で30名(15歳以上) □参加費:1,300円(教材費)、保

育(6ヶ月～3歳未満)希望の方はお一人保険料100円必要 □申込:7月18日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■被綿(きせわた)を作ろう

～菊の節句(重陽の節句)にちなんで

五節句の一つで、菊の花に真綿を着せ、菊の花の香りを含ませるといふ、宮中の慣わしを体験

□開催日時:8月24日(金)14:00～16:30 □会場:3階工芸室 □参加費:300円 □定員:

抽選で20名(4歳～小学6年生) □申込:8月13日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■水墨で描く四季の葉書絵作り

水墨画の基礎四君子と四季の花木を葉書きに描き、年賀状の作成など日常の葉書絵を創造し、楽しむ

□開催日:9月4・18日、10月2・16・30日、11月6日(火)9:30～11:30 □会場:4階第2集会室

□参加費:5,000円 □定員:抽選で30名

□申込:8月17日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■母と子のベビーヨーガ教室

ベビーヨーガの効果や楽しさを体験、実感していただき親子のふれあい、ママ同士の交流を深めていただく

□開催日:9月19日、10月3・17日(水)10:00～11:30 □会場:3階和室 □参加費:3,000

円

□定員:抽選で16組(5ヶ月以上歩き始めまでの赤ちゃんとも母親) □申込:8月31日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■世界に一枚だけの子ども服を作ろう！

ママの古着をアートな子ども服にリフォーム。0歳～4歳児くらいまでの保護者対象(お子様連れでも参加可)。最終回のファッションショーは家族お揃いで！

□開催日時:10月5・12・19(金)・27日(土)10:00～11:45 □会場:4階第3・4集会室

□参加費:500円(4回分) □定員:抽選で20組 □申込:9月25日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

 **生活・心に役立つ講座** 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

■名刺からはじめる地域デビュー

地域で何かはじめよう、何かしたいと考えている方を対象とした講座。自分の名刺づくりを通じて、地域での活動開始を支援。最後には自分自身のオリジナル名刺を制作

□開催日時:9月19・26日、10月3日(水)19:00～21:00 □場所:第4集会室 □参加費:3回で

5,000円(1回のみは2,000円)全回出席者にはもれなく名刺20枚付き □定員20名 □申込:9月8日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■シンポジウム～文化センターの今とこれから

文化センターが関わっている生涯学習とともに、地域づくり(高齢者・団塊世代・子育て)への関わり方を探る

□開催日時:9月22日(土)14:00～16:00

□会場:第3・4集会室 □参加費:無料

□定員70名 □申込:先着順

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■ハーブを使う家庭料理講習会

ハーブを育て家庭で応用できるイタリア料理講習会。ハーブ料理専門家の講師に依頼し、ハーブの知識を深めてもらう

□開催日時:9月24日(月・祝)10:00～12:00

□会場:3階調理室 □定員:抽選で30名(中学生以上) □参加費:1,000円 □申込:9月12

日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■美しき文士村3～森の文学館「馬込文士村の開拓者 野村裕」

馬込文士村の文士たちの足跡をたどるシリーズ講座。第3回は、馬込文士村の土台を切り拓いた功労者、野村裕の娘・薄根幸さんが父を語る

□開催日時:10月6日(土)13:30～15:00

□会場:4階第3・4集会室 □参加費:500円 □定員:抽選で65名 □申込:9月29日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

 **募集してま〜す!** 各種催しでの募集をしています

※9月より以下の募集を開始します。詳細は今しばらくお待ちください。

■11月収穫祭出場、参加希望者

■H20年度公募企画(集会棟利用)

おおた文化の森

おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化支援のための中心施設です。大田区政の基本方針「おおたプラン2015」には、以下のように記されています。1.文化創造の拠点、2.区民による自主運営、3.より利用しやすく親しみのもてる施設

Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m²)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、1.任意登録の文化プレーヤーによって実施する「直接企画」と、2.区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募による事業」の2種類があります。

管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?

- 企画の実施
 - 1.文化プレーヤーに登録して実行委員会またはサポートチームに参画する
 - 2.s「公募による事業」に応募する
- ボランティアとして参画
 - 文化プレーヤーに登録して希望の活動をする

大田文化の森 アクセス情報



バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

- 東急池上線池上駅より
東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車
- JR大森駅(西口)より
東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車
- JR蒲田駅(西口)
東急バス大井町行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

■大田文化の森運営協議会事務局
〒143-0024 大田区中央2-10-1
電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

特集

新しい区民文化活動の協力者たち
～期待される第三期運営協議会～

ご挨拶 ホップ・ステップ・ジャンプ
第三期運営協議会会長 塚越 恒爾

読み応えのあるコラムが自慢

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。

大田の顔 キラリ

今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



第三期運営委員が決まりました
新しく第三期の委員になられた13名の抱負をお伝えします。

文化の森イベントスケジュール



夏本番のこれからの季節、夏休みもありますのでたくさんイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

- 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX) をご記入願います (1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。
- ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.24Web版
2007年7月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail: bunkanomori@nifty.com
[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

おおた文化の森



F&F 編集後記

- ◆そろそろ灼熱の7月である。文化の森も情報誌の内容も熱気を帯びてきた。第三期運営委員の活動も今号「ひとこと」で始まり本格化している。
- ◆文化プレーヤーや実行委員の活躍は、さまざまな夜空の星のように、きらきら華やかな星もあれば、地味に長く瞬いている星もある。いろいろな活動をできるだけ「元氣印文化プレーヤー」「実行委員会いきいき」「文化の森育ち」など多面的に紹介していきたい。
- ◆ふとすぐ脇に、世界に通用する匠を紹介する「大田の顔キラリ」の今号は「江戸切子」である。「おおた花百景」は変貌しつつある「山王花清水公園」をとりあげて波紋を広げたい。
- ◆皆様のご愛読とご支援で、文化の森もこの情報誌も中味が濃くなっていきます。

2007年7月 運営委員(編集長) 福野幸雄

【追悼】

平成18年8月号「おおたの顔キラリ」に掲載させていただいた、ロケットや医療機器等の部品製造にも使われている独特の金属加工技術「ヘラ絞り」、その熟練職人として世界的にも知られた“ものづくりに拘る小さな巨人”北嶋製製作所会長、北嶋一甫さんが3月11日、69歳で逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

◆新緑萌える春である。情報誌の誌面のあちらにもこちらにも、新鮮な原稿が萌え出でている。奥田さんに、フレスコ画家大野さんの芸術を暖かい眼差しと鋭い感性でレポートしていただいた。前号のシリーズ「ここに花あり」で矢野さんが「大倉山公園」への熱い思いを語ってもらったが、早くも反響があり後日談をフォローしていただいた。情報誌の記事は単なる事実の報告に止まらず、それがきっかけになって何かアクションや具体的な反応を呼び、ひいては大田区の街、活性化に繋げたい。

◆区民文化のメッカ、ベースキャンプでありたい文化の森で、次々と文化プレーヤーや実行委員会の活動の芽をふき、花びらが開きつつある。近い将来、百花繚乱となるであろう。「元氣印文化プレーヤー」や「実行委員会いきいき」シリーズに見えている。

◆トップページに、二つを記事にした。たねまき祭が終わって今年度の運営協議会活動のキーワード「世代をつなぐ幸せづくり」という地球の問題、とくに日本社会の宿題を、あえていえば難問を、それも楽しく具体的な企画と行事で解いていくことになった。第二期運営協議会委員は任期を終え、第三期にバトンタッチである。第二期委員の達成感と次期への願いを込めた報告書が先週仕上がった。

◆春と共にますます繁る文化の森に合わせて、情報誌の内容も繁りつつある。

2007年4月 運営委員(編集長) 福野幸雄

◆文化の森運営協議会の活動そのものが、区民の皆様の、どんなかたちであるにしろ、参加によって成り立っています。活動の一環であるこの情報誌「おおた文化の森」の企画、編集、取材、出稿、頒布にいたる作業も、また、皆様の参加によって世に出ているものと思っています。号を追って、この「参加型」の内容が濃くなっており、編集に携るものとして、心強く思っています。

◆文化の森のビッグイベントである「収穫祭」の成果を凝縮してご報告すると同時に、すぐ目の前の「たねまき祭」のさわりとコンセプトをご説明しました。さらにページを繰っていただければ、

「ここに花あり」「大田の顔キラリ」「文化の森育ち」「実行委員会いきいき」「我に一芸あり」などなど、シリーズ物をちりばめております。文化の森活動の豊かでいきいきとした多様な表情を見ていただくと同時に、取材や寄稿が、幅広い「参加型」であることに気づかれるでしょう。

◆運営協議会第二期委員の任期の中で、この1月号と次号4月号を残すのみとなりました。第二期の集大成であると同時に第三期委員へのバトンタッチを意識して編集しております。

特集

新しい区民文化活動の協力者たち
～期待される第三期運営協議会～

ご挨拶 ホップ・ステップ・ジャンプ
第三期運営協議会会長 塚越 恒爾

読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志



文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。



今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」を紹介します。



立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。

◆情報誌「おおた文化の森」は、文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい。すなわちF&Fです。運営協議会が推進する文化の森の活動を訴える表情豊かな「顔」であり、活動に参加する人々が楽しみと生きがいを求めてかかげる「旗」です。

◆素人集団の編集委員がわずか隔月発行の数ページの中にさまざまな企画や活動を圧縮して収めるのは至難の技です。

何を記載するか、如何に記載するかを限られた時間で決定し実務的な作業が求められます。

◆運営協議会の発信を大声でわめくだけでは誌面に魅力がなく、ベースにはわれわれの大田区を好ましく思い愛する気持ちを引き出し掘り起こす記事を、運営協議会の視点から提供したいと思っています。

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



第三期運営委員が決まりました

新しく第三期の委員になられた13名の抱負をお伝えします。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 例でもあり

夏本番のこれからの季節、夏休みもありますのでたくさんイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介します。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.24Web版

2007年7月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります